

令和2年藤枝市議会定例会9月定例会議会

建設経済環境委員会委員長報告書

(議案審査)

令和2年9月30日

[本 会 議]

建設経済環境委員会に付託されました、
議案6件の審査の経過と結果について、主な質疑を中心に報告いたします。

最初に、認第3号「令和元年度藤枝市 簡易水道事業
特別会計歳入歳出決算の認定について」申し上げます。

「公営企業会計の適用にあたり、簡易水道利用者は水道料金が値上がりするが、市民への説明はどのようにおこなったか。」

という質疑があり、
これに対して、

「3年前に関係町内会に向け説明会を実施した。水の安定供給を続けていくことをお約束し、値上がりについては理解していただいた。」

という答弁がありました。

このほか特に報告いたす質疑もなく、採決の結果、
全会一致で、原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

次に、認第5号「令和元年度藤枝市 公共下水道事業
特別会計 歳入歳出決算の認定について」申し上げます。

初めに、「下水道の加入促進活動の進捗状況について伺う。」
という質疑があり、

これに対して、

「令和元年度は新規で164件接続した。今後も、排水設備
関係の工務店の協力を得ながら、未接続地域に呼びかけてい
く。」

という答弁がありました。

次に、「白藤団地、若葉台団地の下水処理施設の老朽化が危
惧され、下水道組合の維持管理が難しい状況になっている。
市としてどのような支援ができるか伺う。」

という質疑があり、

これに対して、

「老朽化は認識している。合併浄化槽への切り替えなど、
地域にあった方法を検討している。2年以内に方針を決定し
ていかなければならないと考えている。」

という答弁がありました。

このほか特に報告いたす質疑もなく、採決の結果、
全会一致で、原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。
た。

次に、認第7号「令和元年度藤枝市 農業集落排水事業
特別会計 歳入歳出決算の認定について」申し上げます。

特にご報告いたす質疑もなく、採決の結果、全会一致で、
原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

次に、認第10号「令和元年度藤枝市内陸フロンティア事
業特別会計歳入歳出決算の認定について」申し上げます。

「一委員より、事業執行にあたり、市内業者を利用するよ
う働きかけることは可能か。」

という質疑があり、

これに対して、

「最終的には進出企業の判断である。市としても市内の業

者を使うことが望ましいと考えており、協議の場で話をしていく。」

という答弁がありました。

このほか質疑もなく、採決の結果、全会一致で、原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

次に、認第12号「令和元年度藤枝市水道事業会計決算の認定について」申し上げます。

特にご報告いたす質疑もなく、採決の結果、全会一致で、原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

最後に、第83号議案「令和2年度藤枝市一般会計補正予算（第6号）」のうち、本委員会に分割付託された費目について申し上げます。

初めに、地域おこし協力隊活動事業費について、

「協力隊員が地元住民に周知され、より活動しやすくなるために、市として今後どのように働きかけていくか伺う。」

という質疑があり、

これに対して、

「隊員同士の意見交換の場を設けて活動の活性化を図るとともに、地域から歓迎され、活動がより周知されるよう支援をしていく。」

という答弁がありました。

次に、歳出の6款1項3目、旧藤枝製茶貿易商館保存・活用事業費について、

「茶文化発信と観光交流の拠点として整備していくとのことだが、具体的にはどのような施設になるのか。」

という質疑があり、

これに対して、

「今後、プロポーザル方式により決定するが、藤枝茶の消費拡大やブランド力の向上、歴史など茶文化の発信と観光交流の場の創出など、市の方針をしっかりと示し、民間事業者とともに、市民に愛される施設となるよう整備していく。」

という答弁がありました。

最後に、ふじえだ陶芸村構想推進事業費について、

「新しい陶芸センターの施設規模は、現状と比較してどの程度拡大するのか。」

という質疑があり、

これに対して、

「施設規模としては現在の2.5倍。定員は、現在の倍くらいの予定である。」

という答弁がありました。

以上のような審査を経て、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上報告いたします。